

おもな記事

第一面 市長選挙日6月14日／全国水道週間／成人学校第一期生募集／市民プール開場／市民登山の会／水曜青年教室

市長選 投票日 6月14日 市議補選 同時に

投票時間 午前7時から午後6時まで (金丸公民館は5時)

市選挙管理委員会では、七月十一日に任期満了となる市長選挙と一議席欠員となっている市議補選を六月十四日告示、十四日(日曜日)投票と決めました。投票当日は午前七時から、市内五十二の投票区で投票開始、開票は午後七時から五か所の開票所で即日開票されます。

立候補予定者打合せ会開く

五月二十五日・市庁舎新館で

市長選と市議補選の立候補の手続き、供託および選挙運動のことなどについて、政党代表者、立候補をしようとする人、その他関係者との打合せ会を、五月二十五日(前橋市選挙管理委員会)。

投票所の変更

西片貝町・東片貝町について
市長選・市議補選から、西片貝町・東片貝町および石倉町の投票所を、次のとおり一部変更いたします。

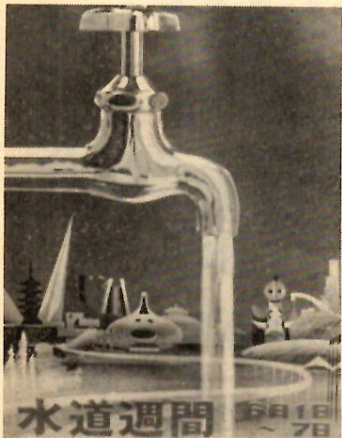
成人学校第一期生募集

ペン習字・書道・生花科など

中央公民館では、市内に在住または在勤の満十八歳以上の人を対象に、成人学校第一期受講生を募集しています。

全国水道週間

6月1日～7日



ことしは六月一日から七日まで、全国にわたって水道週間が行われます。水は空気と同じように、わたしたちの生命を守るため一日道を利用できることになりません。市では、この週間に、敷島浄水場、野中浄水場をはじめ、各水源を公開し、地下からくみあげられた水が、どんな経路をたどってご家庭に送られるかなどをご覧いただくため午前九時から午後四時まで、みなさんのご来場をお待ちしています。

水曜日定休の中小企業等には、若くは青年男女を対象に、五月二十七日から来年三月までの一年間、第二・第四水曜日の午前十時から十二時まで、中央公民館を会場に開設します。

学習課題は①趣味を生かしての仲間づくり②体力づくり。受講料は無料ですが、教材費・実習費は個人負担です。申し込みは、五月二十一日から二十五日まで(日曜を除く)中央公民館へ直接本人がおいでください。定員は先着四十人まで。

青年大学を開設

市内に在住または在勤する二十歳から二十五歳までの働く青年男女を対象に「青年大学」を開設します。

開設期間は六月三日から十二月までの毎週水曜日の夜六時三十分から九時まで、延べ七十一時間。学習内容は①青年期の生活に関するもの②現代社会に関するもの③その他(音楽・美術・体育活動・郷土史等)で、受講料は無料ですが、テキスト代等は受講生負担となります。

中央青年教室

おもにスポーツ、レクリエーションを中心し、若い人たちの仲間づくりを目的とする「中央青年教室」を開設します。応募資格は、旧市域に在住・在勤の十八歳から二十歳までの学生を除く青年男女で、先着四十人まで。

開設期間は六月から来年二月までの毎週水曜日夜七時から九時まで、会場は中央公民館です。

水曜青年教室

働く若い人たちのための市内に在住または在勤する人で、定員は先着四十人まで。

6月1日から 市民プール開場

〈開場時間〉 9時～6時



更衣室ロッカーを設置します

市民プールは六月一日から開場されます。ことしから、利用者のみなさんの便をはかるため、中央管理棟更衣室を改造し、有料ロッカー(一回十円)を設置しましたので、ご利用ください。

春の市民登山の会

前橋山岳会主催による春の市民登山の会が、六月七日(午前五時三十分前橋駅前出発・午後六時三十分着予定)残雪と水はしらの尾瀬沼周辺を目的地として行なわれます。

費用は五〇〇円(宿泊・朝夕食費を含む)。当日会場に申し込み方法・体育用具・筆記用具等を持参してください。

市民登山植物講習会 期日 五月三十日(三十一日) 費用 五〇〇円(宿泊費・夕朝食費を含む) 当日会場に持参

これから10年間の

前橋のビジョン

『前橋市総合整備計画』のあらまし

本市は、このたび「総合整備計画」基本計画をまとめ、いよいよ近代都市前橋の総仕上げをめざすこととなりました。

この新計画は、都市の基礎固めのため、昭和三十三年から四十二年までの前期十年にわたって実施された「新市建設計画」につづき、後期十年の長期総合計画で、昭和五十二年までの市のビジョンを、新しい観点から定めたものです。この計画では、秩序ある都市づくり、調和のとれた産業の形成、しあわせな暮らしづくり、健全な人づくりという四本の柱を骨子にして組み立てられています。市民みんなが望む前橋は、これから十年間にどのように変化しかたちづけられていくのでしょうか。その青写真をお知らせし、市民のみなさんのご理解とご協力をいただきたいと思います。

若さあふれる成人都市

10年後、推定人口30万8千人に

市の人口は四月末現在で約二十三万三千人、明治二十五年市制が施行された当時の三万二千人からくらべると、この七十八年間に七倍の人口となりました。市の面積（都市型）の人口ピラミッドを示すものと予想されます。これは東京などの大都市地域内の一四七・三八平方キロメートルに人口分散化と、戦後のベビーブームの影響とみられますが、本市はいわゆる成年層と子どもの多い都市、つまり「若さあふれる成人のまち」というのが、十年後の前橋の姿となりそうです。現在、全

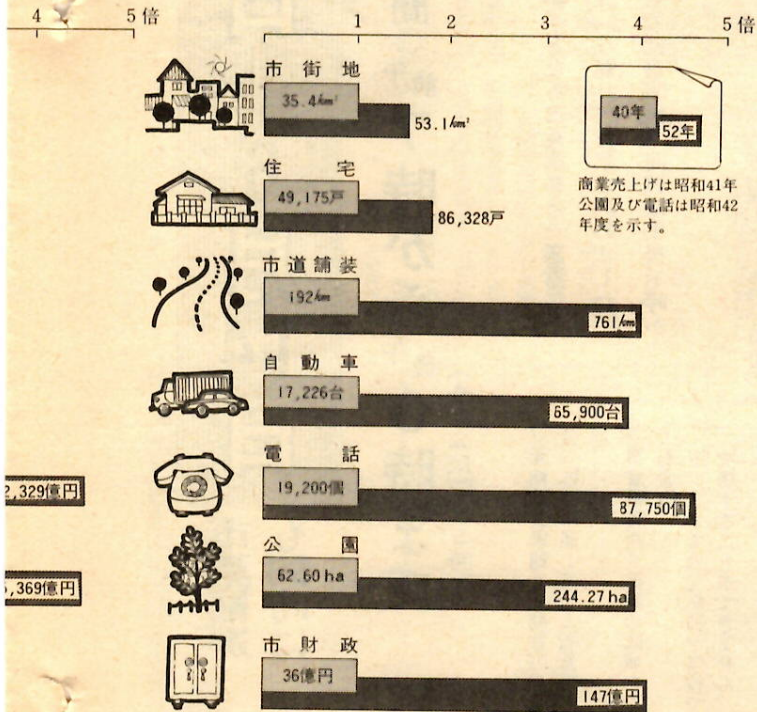
都市へ

30万拠点都市めざす

市街立体化の方向に

生活の将来

10年後の推定



*調和のとれた産業を

農・工・商業の推進

農業、商業、工業などの調和のとれた産業形態の出現が、十年後の本市の夢です。市の産業は、農村を背景に畜産食品、木工などが盛んでした。しかし、昭和三十三年から十一年間の「新市建設計画」で消費都市から生産都市への転換を果たした本市は、これからの十年間で、とくに農業と中小企業の近代化がたいにすすめられます。

農業の根本的転換をはかる

市の農業戸数は現在九千八百八十戸です。このうち、専業二千六百

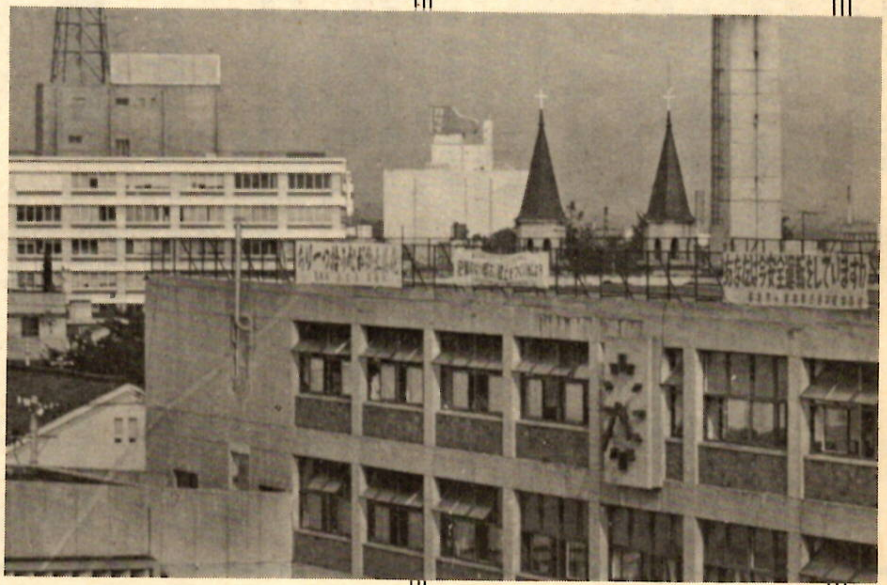
産業会館建設

小企業の協業も

農業とともに、商・工業の発展が期待されます。

*市民の暮らしづくり

社会保障制度の確立



戸、一種兼業四千二百戸、二種兼業二千三百戸で、総耕地面積は八千六百十二ヘクタールです。これは一農家当たり約〇・九ヘクタールで耕地はますます減少する傾向にあります。都市近郊地帯では、園芸や肉豚の多頭化など畜産部門が伸びていますが、都市化、工業化によって農家人口の流出は激しく、特に青年層にこの傾向が強く農業の根本的転換が迫っています。

都市化のなかの農業としては、基盤整備、機械化（協業化）の推進などによって市内を四地区の専業区に区分します。芳賀・桂萱、（北部）南橋（東北部）荒砥地区は養蚕を中心に水稲、酪農、養豚を、上川淵（南部）下川淵、北上永明、木瀬地区は水稲を中心に畜産を推進します。市街地周辺は施設園芸などを積極的にすすめて、土地集約的な経営方式で単位当たりの生産高をたかめます。

こうした農家人口を四万三千人耕地面積六千五百ヘクタールにそれぞれ減らし、逆に一人当たりの農業純生産額は六十九万円と四十年の約三・五倍に増大します。山林地帯は放牧場として乳牛・和牛の生産地とします。

広がる商圈

商店街を再開発

商業は工業や農業の発展に並行して、おのずから大型化されていくことでしょう。

協業デパート、スーパーなど協業店舗の造成、ボランティアチェーンの協業組織の促進、業種別地域別の販売などの共同事業が行なわれます。

また、中心商店街は再開発され流通機構の近代化によって、商圈は拡大され、買い物はもろろん散策に娯楽に利用される群馬県のショッピングセンターの中心がここに形成されます。

オシャレな買い物はこちら、おそうざいはあちらと同一地区にブロック別の商店が並び、ショッピングを楽しむ時代となるでしょう。マイカーでの買い物ができるように、コンピュータシステムをもつ大型駐車場もつくられます。

障害年金などで生活をエンジョイしています。

家庭児童相談では、カギツ子の予防防止を中心に「家庭児童相談所」を設けます。

さつこさんよりこころこ、寺こ八

昭和二十年の戦災で、本市は市街地の八割を焼失しました。しかし、市民の努力で復興は急速に進み、加えて首都圏の開発拠点都市の一つと

また、上越線、両毛線、上毛電
鉄との立体交差は五か所つくられ
ます。

利根川に四つの橋

昭和大橋・南部大橋
利根大橋・中央大橋

利根川には四つの橋がかかけられ

昭和大橋・南部大
利根大橋・中央大
四つの橋がかけら

ます。公田町と高崎市萩原をつなぐ昭和大桥、南部大桥線にかけられる南部大桥、江田・天川線をつなぐ利根大桥、東照宮・東国分線をつなぐ中央大桥がそれです。

—国鉄前橋駅を中心に—

民衆駅ビル、私鉄の国鉄線への乗り入れ、産業鉄道の建設、上越新幹線の建設などが行なわれる予定です。

百二十五か所に

公園緑地

百二十五か所に

「森と水の都前橋」のイメージをくずすことなく、市民のいこいの場として公園緑地をふやします。

前橋公園、敷島公園の整備、城南地区の二子山古墳や五料沼を利用した自然公園、橋山展望公園の造成、学習とレジャーを中心としたこども公園など百二十五か所の

ます。そこで、将来は上武広域都市の玄関口となることから、城南地区の五料沼周辺六六ヘクタールの地域に、ゴルフ場を計画し、二百人収容のホテルをつくりだす。

さらに、萩原朝太郎など郷土が生んだ詩人らをしのぶ総合観光文化会館なども、新しい観光施設の一つとしてつくられます。

利根川には、前橋公園から敷島公園に連なる水上公園がつくられ

浮き島にはシカ、野ウサギ、野鳥などの放し飼いで自然動物園が誕生するのも夢ではなくなるでしょう。こどもたちのキャンプ場、サイクリング道路も計画されています。

墓地も赤城南面の景勝地、嶺地区に八十三ヘクタールの墓地公園を造成します。

安心して住める住宅や市民の耳となる通信も有線放送と電話の直結がはかられます。テレビ電話も夢ではなくなるでしょう。

家族ぐるみのレジャーも盛んになり、市民が生活とレジャーを分けて考える時代になるでしょう。

自然動物園も

自然動物園も
レジャー時代を迎えてこれから
ますます観光の役割は重要となり

小学校新設を計画

“あすの前橋”のた 国立一校、市立二十七校となつて
めの、健全な人づく います。

校舎100%鉄筋に

育、社会教育、家庭教育の三分野の充実がはかれます。

まず、学校教育では、いわゆるドーナツ化現象に対応するために学校の新設が行なわれます。現在市内の小学校児童は一萬九千八百人で、

市立小学校の鉄筋化は一六・五パーセントで、木造建物の老朽化が目立っています。このため、校舎の鉄筋化と都市開発による住宅団地造成などに通学区域の再編成を行ない、広瀬、大利根、荒牧、西片貝、總社・元總社地区などに新設校が計画されています。体育館、プールなども全校にできあがります。

市立図書館も改築に

社会教育では成人教育が活発になります。

〈市費は895億円〉

これらの10年間のビジョンを達成するためには、資金需要総額3,251億が推算されます。

このうち、市費が895億円、国・県・公社・公庫・公共的団体などの公共投資が1,427億円、民間投資が929億円と見込まれます。

※計画の4本の柱。別にみると、①都市の近代化にあてられるものは2,214億円で最も多く、②産業の振興には556億があてられ、③社会開発の推進には355億円、④文教の振興は105億円があてられます。またこの重要施策の推進をはかるための市行財政の合理的運営にあてられるものが21億円で

計画の一部は、すでに43年度から実施していますが、市民の生活を明るく豊かにし、進む都市化現象に対処し、魅力ある都市をつくるためには、将来の時点から現実の市行財政に秩序を与えるための長期計画はぜひ必要で、これらの資金需要と相まって市民のみなさんの理解と協力が望まれるわけです。

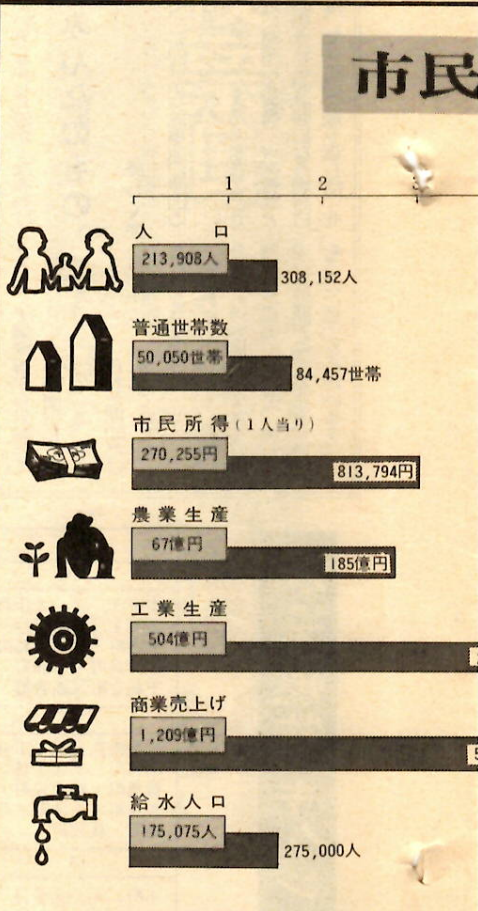
重要施策別資金需要 (単位：千円)

事業部門別	総事業費
1. 都市の近代的整備 (秩序ある都市づくりの推進)	(68.1) 221,403,969
2. 産業の振興 (調和のとれた産業の形成)	(17.1) 55,561,610
3. 社会開発の推進 (幸せな暮らしづくりの推進)	(10.9) 35,521,804
4. 文教の振興 (健全な人づくりの推進)	(3.3) 10,512,849
5. 市行財政運営の合理化	(0.6) 2,080,644
計	(100%) 325,080,876

注：（ ）内は構成比を示す。

「前橋大学」が誕生

市立短大は、土木工学、建築、



市独自の健康管理も大きなポイントのひとつです。

伝染病予防接種は、すべて無料となり、先天性異常児の予防、母性管理、身心障害児の発生子防などにも力がそそがれます。

成人病のガンの予防対策のため

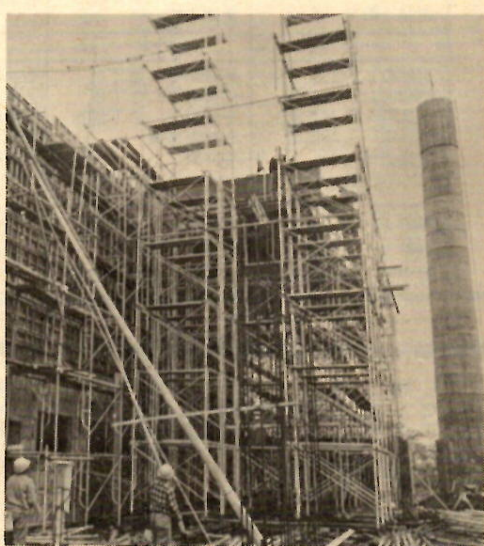
に、ガンセンターがつくられます。

市独自のものとして付加給付、任意給付としての助産費、葬祭費、医療給付率のアップ、低所得者の保険減額がなされます。

社会保障でも、国民皆年金として老後保障はもちろん、母子年金

十五歳以上の老人に対しては敬老年金の増額が行なわれます。寝たきりの老人には、奉仕員が各家屋を訪れて元気づけ、六十五歳以上の老人には無料で健康診断を実施します。

養護老人ホームも八十人収容のものも新設されます。



ゴミ週2回どり

水洗トイレ四倍に

市民のみならず、特に家庭の主婦が頭を悩ますゴミ収集は、六供町に建設中の新しい清掃工場の完成と合わせて、近い将来には週二回どり、一日四百五十トン（四・五倍）にふやします。

水洗便所は現在の約四倍の二万五千戸に、下水処理能力は約五倍の一日五万二千立方メートルにしています。

